

平成28年度 輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成28年11月30日

農林水産省
食料産業局長 殿

全国農業協同組合連合会
営農販売企画部
輸出推進課

平成28年度における輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

- 対象国・地域 : タイ(バンコク)
実施期間 : 平成28年11月10日～ 11月29日
(フェアに係る出張 : 平成28年11月17日～ 11月19日)



「タイ全農青果物フェア」

1. 『タイ全農青果物フェア』について

(1)期間 : 平成28年11月10日(木)～11月29日(火)

(2)場所 : 1. TOPSチットロム号店
2. TOPSバンナー店
3. エンポリアム青果物売り場
4. エムコーティア青果物売り場
5. ビラマーケット トンロ店

(3)出席者 : Daisho Tailand : Suchada Director
全農 : 営農販売企画部輸出推進課 橋詰、遠藤

(4)内容 : タイ輸入会社の協力を得て今年度2度目の全農フェアを実施した。
定番化しているりんごをはじめ複数の青果物をコンテナに混載した。今回は全農独自の費用でCAコンテナを使用し、柿の海上輸送をテストした。
販促フェアは高級スーパー5店舗で行うほか、輸入社の特設商談会会場において5社の業務用バイヤーと個別商談も実施した。

①出荷日程

10月26日、神戸倉庫へ納品。
10月27日、神戸倉庫で検品・植物検疫。
10月28日、通関
10月29日、神戸港出港。
11月7日、ラッカバン(バンコク)港到着。
11月9日、輸入社倉庫到着・検品。
11月10日、販売店舗に搬入。

②痛み発生3品目の日本検品時画像:



出荷商品リスト:

番号	商品名	産地	ケース	数量
			重量kg	
1	さつまいも(紅はるか)	宮崎	10	30
2	さつまいも(紅天使)	茨城	10	50
3	人参	北海道	10	20
4	大根	北海道	10	20
5	かぼちゃ	北海道	10	10
6	白菜	長野	15	5
7	りんご(トキ28玉)	青森	10	20
8	りんご(トキ32玉)	青森	10	80
9	りんご(玉林)	山形	10	100
10	りんご(早生フジ28玉)	秋田	10	14
11	りんご(早生フジ32玉)	秋田	10	86
12	りんご(シナノスイトー32玉)	長野	10	40
13	りんご(シナノスイトー36玉)	岩手	10	30
14	ぶどう(シャインマスカット)	長野	3.5	25
15	柿(33玉)	愛知	10	14
16	柿(36玉)	愛知	10	42
17	柿(42玉)	愛知	10	38

輸送はCAコンテナ輸送後、タイ輸入社倉庫到着時の画像。

評価:

1. 柿はほとんど軟化したため、商品価値はない。
2. かぼちゃは低温障害によりピットティング起こしたところに白カビが発生(10ケースに4ケースの割合)。
3. さつまいも(茨城産、昨年度収穫分)は10割の割合で腐敗が発生。
4. 上記以外のものは着荷状態がよかった。特に評価すべきものは早生りんごとシャインマスカット。この2品目は従来空輸であるが、今後CAコンテナによる輸送でコストダウンを図ることができる。



Tops Bangna店



全農販促資材で売り場作り、オールジャパン用フルーツシールを個々の商品に貼付。



現地プロモーターによる試食販売。日本青果物輸出協議会作成した商品紹介を活用した。



全農職員による販促。

Emquartier



国王逝去で100日間喪服中、派手な飾りつけはできないため、簡単に売り場作りした。



全農職員による販促。



産地提供の化粧箱で柿販売。

Emporium店



現地プロモーターと全農職員による販促。現地富裕層はよく使う店舗とのこと。

Daishotailand特設した商談会場 (REMBRANDT Hotel内)



バンコクの業務用客先に輸出した商品を説明し、購入を勧めた。↑



←Daishotailand社長と今後輸出拡大に関する打ち合わせ。

Villa Thonglor店



現地プロモーターによる販促。



日本産が分かるようにオー
ルジャパン用シールを貼付。



全農職員による販促。



4. 所感

国王逝去喪服中で全体的に消費を抑えている雰囲気であった。控え目の売り場作りであるが、日本青果物輸出協議会作成の商品紹介で日本産の青果物を宣伝することができた。

輸入会社の取り計らいで特設商談会場を利用してバンコクの業務用販売先と詳しく情報交換ができたと思う。今後は、販路拡大によるコンテナ輸送との相乗効果が期待できると考える。